

セアカオサムシ *Hemicarabus tuberculatus* (Dejean et Boisduval)

【選定理由】

愛知県からは春日井市の庄内川ただけ所から記録されている。本種は広範な環境に生息するが、山地の自然度の高い地域より河川敷や耕作地など人里の環境に多くの生息地を持っており、人為的影響を受けやすい。

【形態】

体長 16～22mm の小型のオサムシで前胸背板および上翅側縁は銅色の金属色を有する。

【分布の概要】

【県内の分布】

愛知県からは春日井市熊野町の庄内川河川敷が唯一の記録地として知られている。

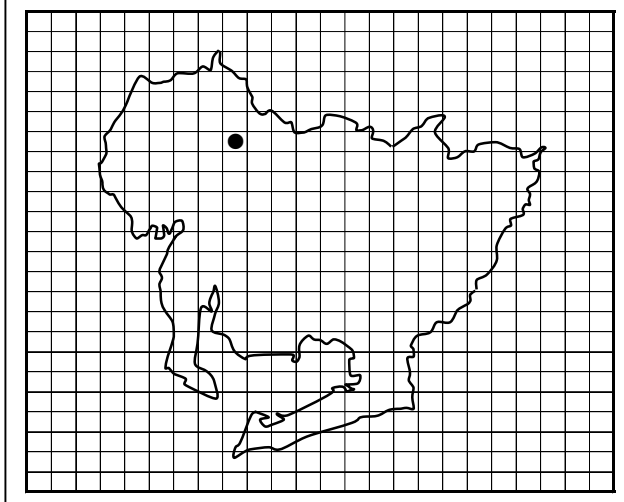
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

朝鮮半島、中国、シベリア。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

本種は山地から低地まで広い範囲に分布し、河川敷や耕作地周辺、疎林の明るい地表などに生息する。しかし分布は局所的である。

県内唯一の記録地であった庄内川河川敷の生息環境は、砂地近くのススキがまばらに見られる場所で、砂地を生息地とするオサムシモドキと共に得られている。

【現在の生息状況／減少の要因】

記録された 1979 年には個体数は少なくなかったが、直後に生息地はブルドーザーにより整地されてしまいその後の採集例はない。河川敷の護岸整備などにより、本種の主要な生息地であったと考えられる河川敷の環境が失われたことが大きな減少の要因と考えられる。

【保全上の留意点】

河川敷の管理、開発には十分な事前調査と生物多様性への配慮が必要。とくに氾濫源などの湿った荒れ地を好む甲虫類は、河川整備に強く影響を受ける。

【関連文献】

河路掛吾, 1979. 庄内川に生息しているセアカオサムシ. 佳香蝶, 31 (119): 46.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)